

平成24年度高知南国道路外埋蔵文化財発掘調査業務委託

田村北遺跡

記者発表及び現地説明会資料



日時 記者発表 2012年12月13日(木) 午前10時30分～12時
現地説明会 2012年12月15日(土) 午後 1時30分～3時
場所 南国市田村乙の田村北遺跡発掘調査現場

高知県教育委員会
(公財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

1. 調査の目的

今回の発掘調査は、国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所が計画している高知南国道路工事区間内に所在する田村北遺跡について、工事の影響を受ける部分について事前の発掘調査を行い、遺跡の内容を記録して後世に伝えようとするものです。

2. 調査対象地

南国市田村 27,700㎡（予定）

3. 調査期間

平成24年4月25日～平成25年1月31日（予定）

4. 調査体制

調査委託者 国土交通省四国地方整備局

調査主体 高知県教育委員会

調査実施機関 （公財）高知県文化財団 埋蔵文化財センター

5. 調査成果

(1) 検出遺構

弥生時代：

竪穴建物跡 28棟

掘立柱建物跡 15棟

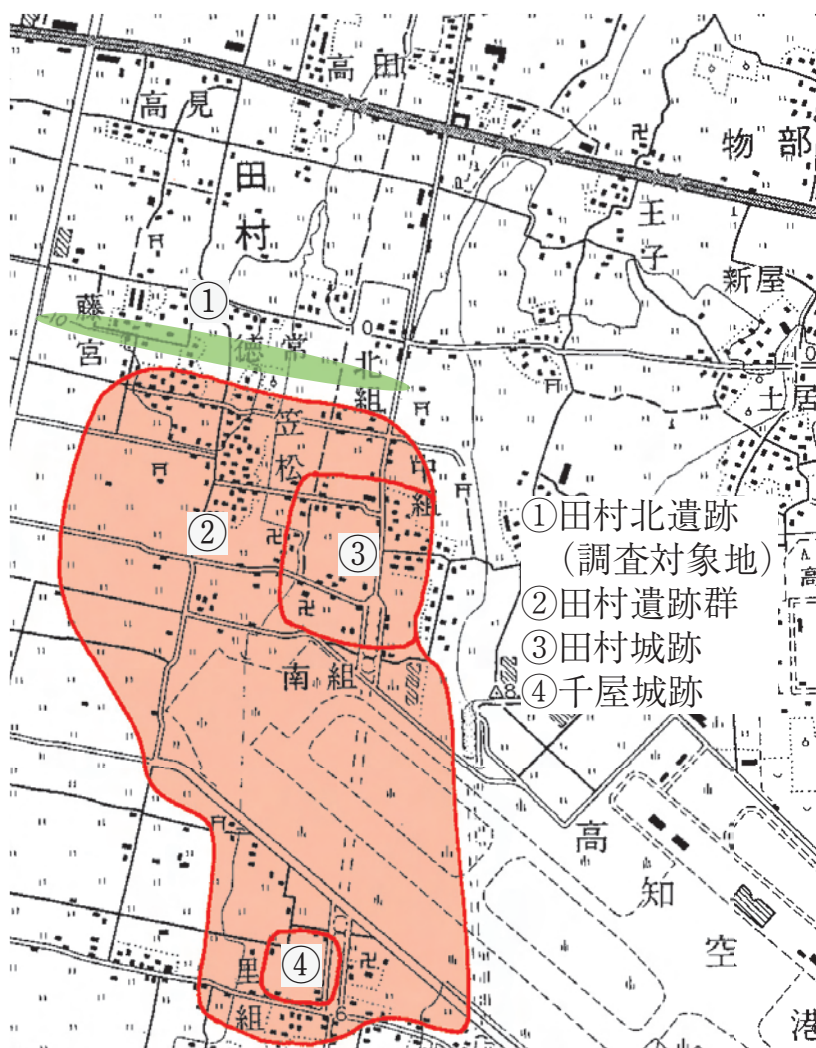
溝状土坑 43基

土坑 422基

溝跡 88条

ピット 4100基

流路跡 2条



第1図 田村北遺跡周辺の遺跡分布図

古墳時代：竪穴建物跡 2 棟

古 代：掘立柱建物跡 5 棟，畝状遺構 4 条，波板状遺構多数

中 世：掘立柱建物跡 6 棟

近 代：防空壕跡 1 基

(2) 出土遺物

縄文土器（晩期）3，弥生土器（甕，壺，鉢，高杯）50,000，石器（石包丁，石鏃，石斧，石剣等）130，須恵器・土師器・土師質土器 3,700，緑釉陶器 30，黒色土器 3，中世陶磁器 315 等（いずれも現時点・破片含む）

6. 調査の概要

弥生時代

田村遺跡群は西日本屈指の弥生遺跡として知られていますが、今回の調査で北側への広がりが判明しました。出土した竪穴建物跡は合わせて 500 棟近くとなる見通しですが、これは全国の弥生遺跡の中でも最大の規模です。また本遺跡では、弥生時代の開始から末期まで連綿と集落が続いているということも大きな特徴で、本県だけでなく、日本列島の弥生時代を考える上で欠かせない遺跡であることは間違いありません。

今回出土した主な遺構には竪穴建物跡、掘立柱建物跡、溝跡、溝状土坑があります。出土した土器等から年代をみると、弥生時代の中期末頃（紀元前 1 世紀）に大きなピークがあり、今回も調査区東半ではほぼ全面に遺構が展開しています。調査区の東端であるⅣ-4 区では、焼けて倒れた部材もそのままの竪穴建物跡 ST1 がみつかりました。直径は約 6m を測ります。またⅢ区では、深さが 1.4m で階段を設けた大型土坑も出土しました。中期末の居住域の西縁とみられる場所にあり、埋土の最下層はシルトで、中層に多数の土器が残されています。



焼け落ちた竪穴建物(Ⅳ-4区)

一方、今次調査範囲の西端部であるⅠ区では、後期終末（紀元2世紀頃）の竪穴建物跡が2棟出土しました。多数の地元産土器の中に近畿地方産の土器が含まれており、遠隔地との交流がうかがわれます。

今回の調査成果を既往の成果と併せると、遺構が散在する中期中頃までの景観から、中期末の大集落、そして後期後半には急激に減少に向かい、終末期には少数の住居が周辺部のみに営まれるという経緯をたどったことがわかります。中期末頃の当地で、列島規模でも大きな集落が展開した理由は何か、また、その集落が終末期になるとなぜかつて栄えた地区の中心を避けるように営まれたのか、発掘調査の成果は私たちに問題を投げかけています。



階段付き大型土坑(Ⅲ-1-4区)

古代・中世

田村遺跡群は弥生時代以降も注目される内容を持つ複合遺跡で、今回も様々な遺構・遺物が出土しています。古代(奈良・平安時代)では水田等に関する可能性のある畝状遺構がみつき、それらが埋まったあとに四角い柱穴の掘立柱建物が建てられたことがわかりました。本遺跡がある平野を空からみると碁盤目状の条里状景観がみられますが、その起源は古代に遡る可能性があり、上記の成果も新たな手がかりとなります。



弥生土器の出土状況(Ⅳ-4区)

出土した食器類は土師器^{はじき}と須恵器^{すえき}の両種が揃っており、赤く塗られた「赤彩土師器^{りよくゆうえんめんけん}」もあります。円面硯（須恵器の硯）や、平安時代に京都方面で作られた緑釉陶器・黒色土器の食器、さらには中国産の青磁もあり、当地に役所的な施設があったことを示しています。

中世では、12世紀末～13世紀初め頃（平安末～鎌倉時代初め）の「かわらけ」埋納土坑や、溝で囲まれた15世紀代の屋敷跡がみつかりました。今次調査区の約700 m南には、室町時代に土佐を治めた守護所である田村城跡があり、田村遺跡群の調査では家臣団屋敷群も検出されていましたが、今回の成果により、屋敷群が北側にも存在することがわかりました。



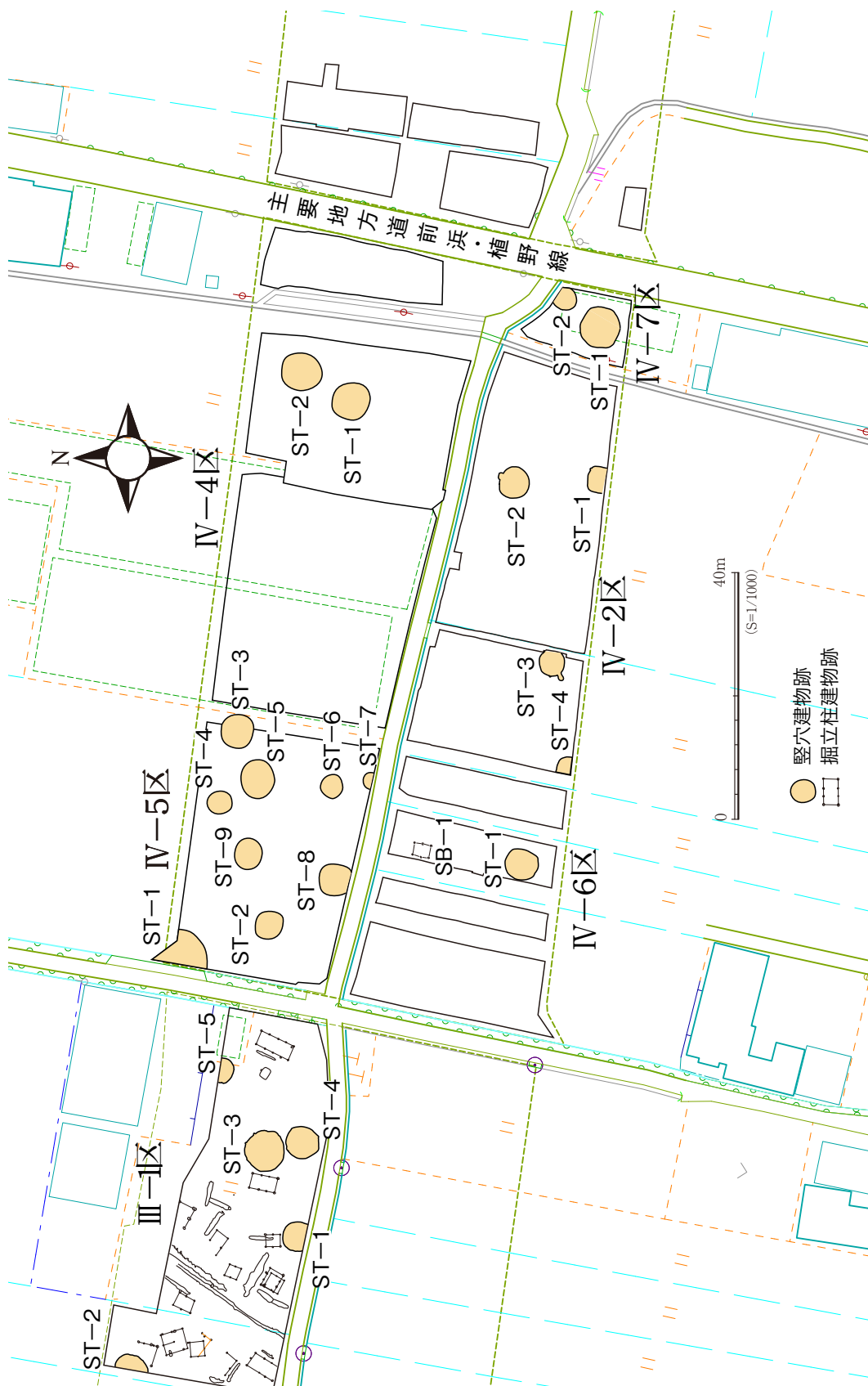
畝状遺構(Ⅲ-4区)



掘立柱建物跡(Ⅲ-4区)



中世の屋敷跡(Ⅱ-2区)



第2図 田村北遺跡 東部 遺構配置図(S=1/1000・弥生時代)